

SPORTACCORD CONVENTION

SAINT PETERSBURG MAY 26-31, 2013
WHERE SPORT MEETS



SportAccord Convention2013報告

2013年5月26日～31日 サンクトペテルブルク

社団法人日本スポーツツーリズム推進機構
事務局 中山 哲郎

2013年6月21日

スポーツアコードとは？



旧称: GAISF (国際競技団体連合)

※メンバー

- ・93国際スポーツ団体【IF】
- ・16関係団体
英連邦大会、欧州放送連合、マスターズゲームス、
地中海大会、軍隊スポーツ大会、マインドスポーツ、
パラリンピック、スペシャルオリンピックス、大学スポーツ連合、
スポーツ施設、スクールスポーツ、ワールドゲームス 等

- ・国際オリンピック委員会 (IOC) 承認団体
- ・国際スポーツ競技団体 (IF) や、教育・科学・技術的な側面でスポーツに貢献している国際組織等が加盟
- ・世界のスポーツ保護、情報共有、協力強調が目的
- ・役員は、夏季オリンピック競技団体連合・冬季オリンピック競技団体連合・IF選出IOC委員・スポーツアコードの独立協会メンバー、上記以外から選出される
- ・SportAccord Convention・IF Forum 等の国際会議とともに、新しいスポーツの切り口の総合競技大会をプロデュースしている。

例: World Combat Games/World Urban Games/World Mind Games/World Beach Games
World Artistic Games

FULL AND ASSOCIATE MEMBERS

All over the world

SportAccord is the umbrella organisation for Olympic and non-Olympic international sports federations as well as organisers of international sporting events. Our mission is to UNITE and SUPPORT our members.



3.



※1999年旧称GAISF総会(大阪)

- 第1回(2003年5月12日～17日)マドリード(スペイン)
- 第2回(2004年5月15日～20日)ローザンヌ(スイス)
- 第3回(2005年4月16日～20日)ベルリン(ドイツ)
- 第4回(2006年4月3日～7日)ソウル(韓国)
- 第5回(2007年4月23日～27日)北京(中国)
- 第6回(2008年6月2日～6日)アテネ(ギリシャ)
- 第7回(2009年3月23日～27日)デンバー(アメリカ合衆国)
- 第8回(2010年4月26日～30日)ドバイ(アラブ首長国連邦)
- 第9回(2011年4月3日～8日)ロンドン(イギリス)
- 第10回(2012年5月21日～26日)ケベックシティ(カナダ)
- 第11回(2013年5月26日～31日)サンクトペテルブルグ(ロシア)

4

スポーツアコードコンベンション2013の参加目的



JSTA代表としての参加～2012年ケベックに引き続き参加

- ・スポーツ団体・スポーツイベント誘致・開催都市 等とのネットワーキングによる情報収集
- ・世界のスポーツ界の動向把握

ブース出展～独立行政法人日本スポーツ振興センター(JSC)とJSTAとの共同出展

- ・JAPANとしての存在感演出(スポーツのみならず文化的要素を含む。きもの・日本酒)
- ・新国立競技場デザインの紹介/JSC活動紹介
- ・JSTA設立の紹介、日本のスポーツツーリズム紹介
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック招致活動の側面的支援
- ・海外・日本メディアへのPR

- ・日本のスポーツツーリズム紹介アプリ(英語)

<http://www.sporttourism.jp/>



5

日本のスポーツツーリズム紹介アプリ



6

- 2013年サンクトペテルブルク開催の参加規模
参加エントリー人数:2,354 参加者国籍:58
参加組織数:912(対前年+11%)
ブース出展数:92(対前年+12%)
参加国際スポーツ団体【IF】:107
参加都市:115
メディアエントリー数:360

※話題豊富なイベント

2020年オリンピック・パラリンピック立候補都市プレゼンテーション
夏季オリンピック実施競技の絞り込み

- ①レスリング ②野球・ソフトボール ③スカッシュ

7

スポーツアコードコンベンション2013会議概要
(IOC理事会・競技団体会合以外)

- (1)5月27日*LawAccord:八百長問題に対処するために必要な規制力のある枠組みとは何か?
- (2)5月28日*City-to-City:参加都市同士の情報交換会
- (3)5月28日*City Forum:スポーツイベントを誘致開催しようとする都市のポジショニング?
7つのインパクト分析項目:①経済と観光②文化の活性化③都市イメージ作りのためのアイデンティティ形成④住民参加意識の向上⑤社会的資産の創出⑥環境作り⑦ガバナンスと管理システム
- (4)5月29日*SportAccord Convention Conference
THE STATE OF OUR INDUSTRY-Examining the Health of Sport
スポーツ界の様相ースポーツの健康状態の検証
- (5)5月30日*SportAccord Convention Conference
THE STATE OF OUR INDUSTRY-Examining the Health of Sport
- (6)5月30日*2020 Olympic Candidate Cities Presentation:Istanbul/Tokyo/Madrid
- (7)5月30日*2020 Olympic Candidate Cities Press Briefings:Istanbul/Tokyo/Madrid

8

スポーツアコードコンベンション2013出展者リスト (国・都市 抜粋)



① KAZAN(ロシア) 世界水泳2015
ユニバーシアード2013

② 光州

③ イスタンブール2020

④ 東京2020

⑤ マドリード2020

⑥ 南京 ユースオリンピック2014

⑦ ニュージーランド

⑧ オーストラリア

⑨ バクー(アゼルバイジャン)
欧州競技大会2015

⑩ ベルリン

⑪ サンクトペテルブルク

⑫ 高雄

⑬ エドモントン

⑭ スコットランド

⑮ フィンランド

⑯ オランダ

⑰ 日本

⑱ ローザンヌ

⑲ マカオ

⑳ マレーシア

・メルボルン

・新台北(市)

・カタール

・ケベック

・シンガポール

・デンマーク

・スウェーデン

・スイス

・カナダ

・カリ(コロンビア) ワールドゲームズ2013

・Wroclaw-ポーランド ワールドゲームズ2017

・クラスノヤルスク(ロシア) 冬季ユニバ2019招致都市

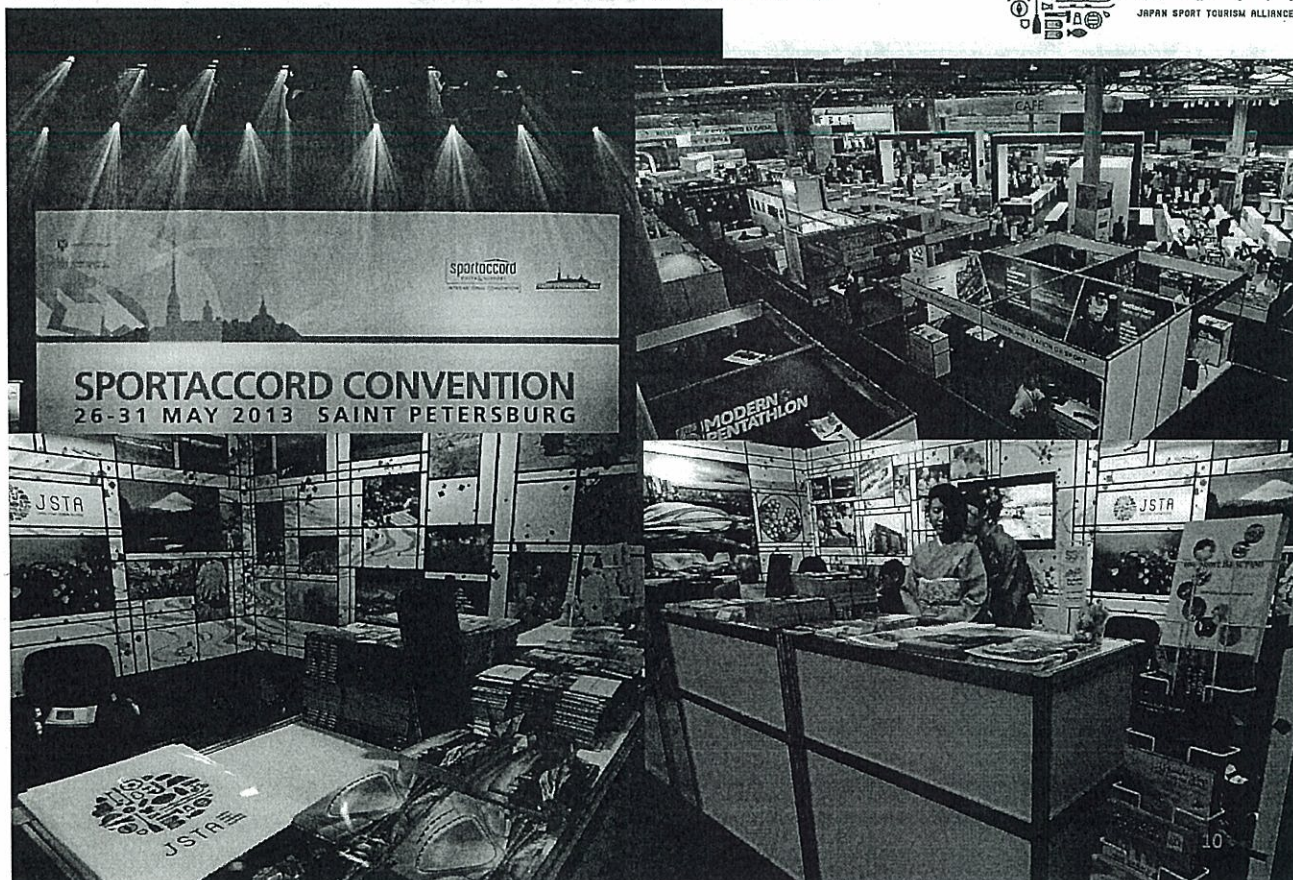
・UK(Trade & Investment)

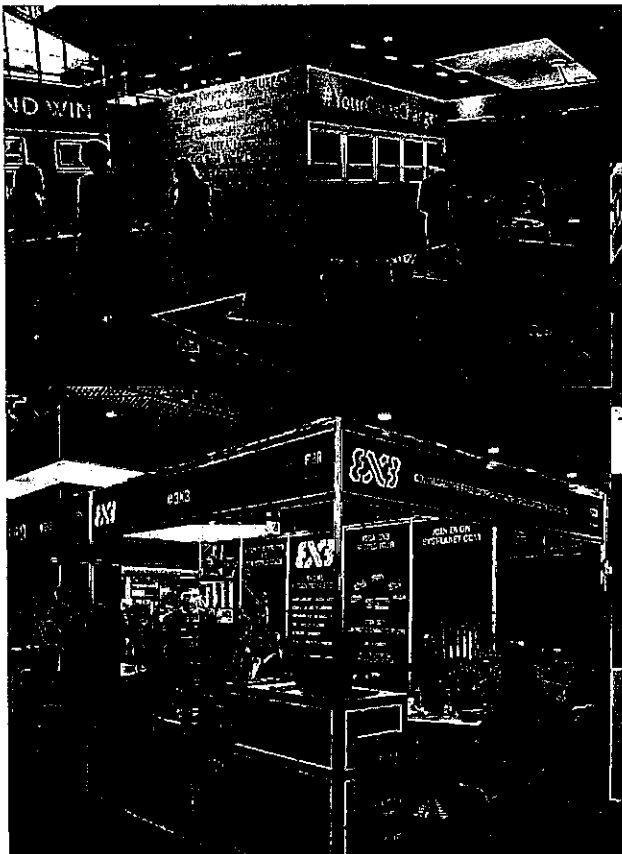
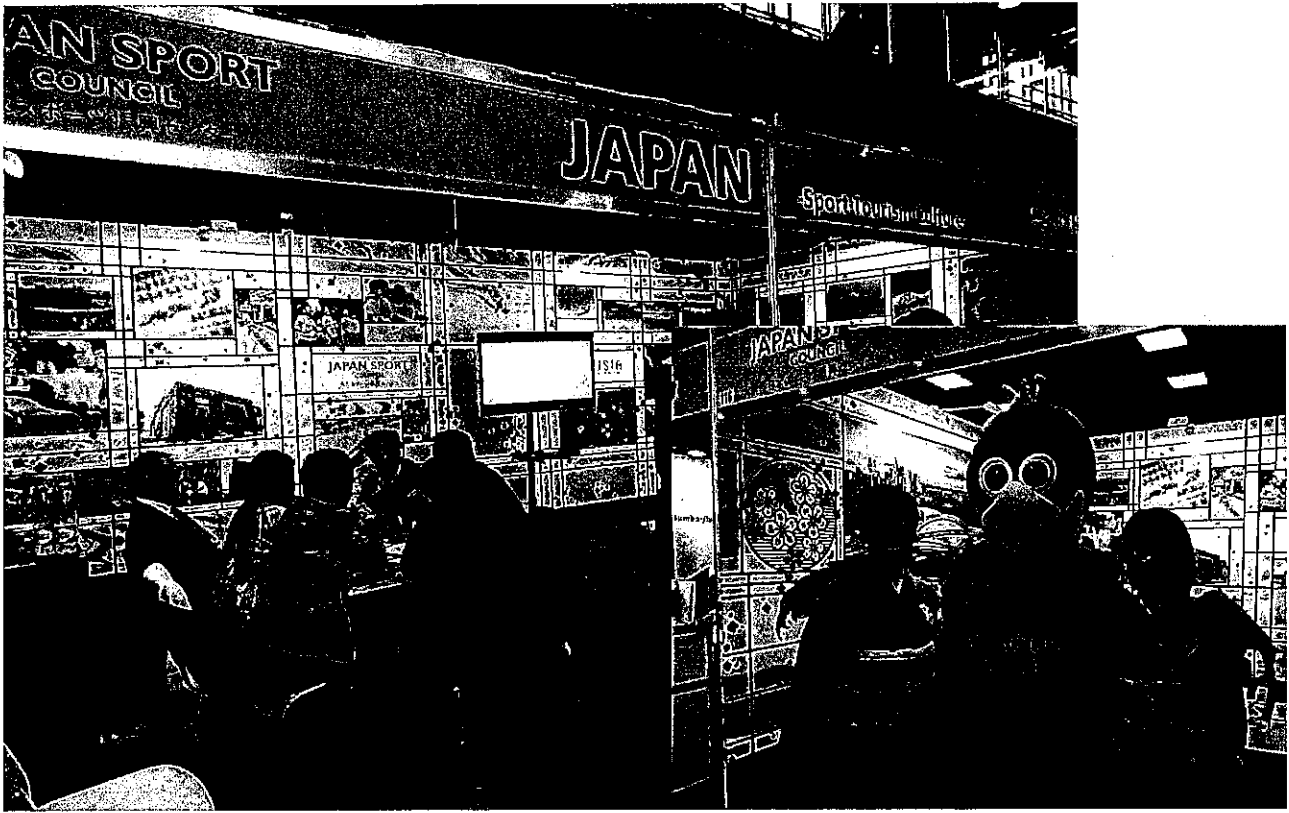
・ウェールズ

・ミュンヘン

※今回のブース数:92

スポーツアコードコンベンション2013展示会場





スポーツアコードコンベンション2013 個別MTG



- ・SportAccord事務局: World Urban Games2015 その他
http://sportaccordconvention.com/pdf/CASE_STUDY_Vincent_Gaillard.pdf
- ・Penceo Sport: 欧州市場向けWEBデザイン提案
- ・peace and sport: モナコ開催を他都市開催に。2012ソチ開催。次回2014
- ・Team Canada=CSTA: JSTAコンベンションへの招聘、スポーツアコードへの参加実績多数
- ・Quebec: ICE CANOE RACE, Quebec Festival
- ・Singapore Sport Council: Vision2030
- ・World Skateboarding: 世界大会開催権利保有
- ・FISU (国際大学スポーツ連合): 世界大学選手権
- ・IAAF (国際陸連): 事務局長は日本に知人多い
- ・Int'l Lifesaving Federation: 2018年世界選手権 日本開催検討中
- ・Int'l Orienteering Federation: 本部ヘルシンキ。80年代は日本が活発。
2005年愛知で世界選手権開催
- ・Int'l Tchoukball Federation: スイス生まれ。欧州・台湾・東南アジアで盛ん。
- ・A.S.O: さいたまクリテリウム。ツール・ド・フランス主催者
- ・City Events2013: 11月ローザンヌ開催
- ・aggreko: スタジアム関連(オーストラリア)、九段下にレップ有
- ・trivandi: スタジアム関連(UK)
- ・TSG: スタジアム関連(UK)
- ・AROUND THE RINGS : オリンピックメディア 等

21

スポーツアコードコンベンション2014にむけて



- ・次期開催地: トルコ・BELEK
- ・開催時期: 2014年4月6日～11日
- ・参加メンバー(案) ~ Team Japanの編成

JSC(日本スポーツ振興センター)

JSTA

地域スポーツコミッション

地域観光推進機構

観光庁

※各地域に適合したスポーツイベントオーガナイザーとのネットワークを目的とする

22

ご静聴ありがとうございました。

JSTA事務局

中山 哲郎

